

第 60 号

発行：令和6年4月

会員数：129名（3月末現在）

（家族会員＝12名、個人会員＝117名）

発行責任者：田中 恆（ひさし）

編集責任者：出口 孝次

松浦武四郎記念館友の会

友の会だより

友の会事務局：

松阪市小野江町 383

松浦武四郎記念館内



「友の会」のHPは、松阪市HPの中にあります。

観光文化スポーツ → 文化情報・施設 → 松浦武四郎記念館 → 松浦武四郎記念館友の会について

（松阪市で検索してね）

「巻頭言」

田中 恆

私は令和4年の5月8日の総会にて会長に就任させて頂きました。8名の新役員と顧問として前会長の飯田秀様にアドバイスを賜り会を進めています。副会長としていろんな会合、武四郎の発展についての会合等に参加してまいりました。会長として今までの経験を活かした活動をしたいと思います。

最近の催しについて、昨年6月1日～6月30日には、三雲振興局（三雲ほっとギャラリー）にて「友の会活動の写真展示」を開催いたしました。たくさんの方に見て頂きました。また、松阪偉人顕彰団体の「偉人たち展」を8月9日～8月13日の5日間開催いたしました。開催期間中、400人あまりの皆様に見て頂きました。アイヌ民族と武四郎の木彫りに関心が集まりました。ただ展示会場に武四郎の大きな看板があれば良いのにとの声を頂きました。……その他の偉人たちの展示会場も迫力があると好評でした。松阪偉人顕彰団体主催で、初めて「武四郎ウォーク」を開催したところ、23の方に参加して頂き、好評の感想を頂きました。



「武四郎ゆかりの神鏡を訪ねる旅」として京都方面へ行く事ができました。37人が参加をして頂きました。

2月25日には、「武四郎まつり」が開催され、たくさんの方（約4000人）に参加して頂きました。

最後になりますが、会員の皆様方には新型コロナ対策、インフルエンザ対策、花粉症対策等充分注意して頂きますようお願いいたします。

『友の会活動を振り返って』

顧問：飯田 秀

友の会会長を退任して、顧問として協力させて頂いています。友の会の歴史は、平成19年に武四郎講座を受講されている方12名に言葉をかけて講座会を立上げ、翌年5月に誰もが気楽に入会できる『松浦武四郎記念館友の会』を立上げ、私が地元の自治会長と記念館の近くと云う事から、満場一致で会長として取り組む事になりました。

平成20年から北海道千本桜運動よりエゾヤマザクラの苗木を3年間で35本送って頂き、気候が違うので、山へ1年間、借植樹をしてから、現在の小野江公民館周辺などに12本植え、友の会で育成管理に務め、4月中旬には綺麗な花が咲き多くの方が見学に来られています。北海道命名150年記念事業では北海道新聞社から取材を受け写真入りで大きく掲載されました。

又、武四郎の足跡を訪ね、先ずは、武四郎が富岡鉄斎に送った硯を見に鉄斎美術館へ、その後は武四郎が天満宮へ奉納した神鏡を訪ねる研修バスツアーで11の天満宮を拝観。他に、武四郎が泊まった旅籠跡を訪ね、飯南・飯高へ。

他団体との交流会では10団体と交流しました。武四郎講座では年2回程講師を依頼しました。（2年前から全て記念館が担当。）令和2年には「松浦武四郎記念館友の会のあゆみ」の冊子を3ヶ月かけて作成し、新聞にも取り上げられ、三重県立図書館では1ヶ月展示されました。

友の会年会費について個人会員：500円で運営していますが、3団体（*）へ会長が申請して融資を受け、友の会活動に活用してきました。*松阪市ボランティア連絡協議会から4回、松阪市地域応援事業（市民活動センター主催）から1回、原田積善会から（歌碑建立など）3回



武四郎まつりに展示で参加！



令和6年2月25日の日曜日（10：00～15：30）には、第29回「武四郎まつり」で活動展示をしました！

友の会として、展示ブースを出すために、計画通り朝早くから準備しましたが、あいにくの雨模様。どれだけのお客様が来てくださるのか心配しながら、テントの周りに友の会コーナーのパネルをぶら下げて、何のテントだろうと思う方にも知らせるようにしました。

中に展示したのは、昨年度から今年度にかけて行った活動の写真などです。濱口様からお借りした武四郎とアイヌの人の木工作品も見て頂きました。また、「武四郎の神鏡を訪ねる旅」で行った菅大臣天満宮の石標を出口役員が別の日に行ってとってきた拓本の展示もしました。神鏡は、武四郎が奉納前に拓本をとっているのので記念館にあるのですが、石標の拓本は、道明寺天満宮以外には保存されていないために、見ることはできません。とても貴重な資料になります。

雨天が予想されたために、ステージがテント横ではなく小野江小学校体育館に変更になっていたのも、お客様も少なく残念でした。

また、飲食ブースは、昨年同様小野江公民館になっているので、友の会テントまで来てくださる方は本当に有難かったです。お立ち寄りくださった皆様、ありがとうございました。



小野江小学校体育館をお借りして、オープニングセレモニーを行い、その後、様々な出演者がお客様を楽しませていました。



アイヌ古式舞踊は、北海道にある札幌大学ウレシパクラブのみなさんが、日頃の練習成果を披露してくれました。

擬革紙について講演開催！

擬革紙の講座を3月16日(土曜日)午後2時から開催し、16人の参加がありました。講師の堀木茂さんの自己紹介の後、擬革紙の歴史などについてお話いただき、ビデオによる擬革紙の作り方を拝聴しました。松浦武四郎記念館多目的室の中に古い擬革紙の製品や現代的な商品などを持ってきていただいてあり、見せていただきました。



武四郎さんが愛した火の用心と書いた「たばこ入れ」も現代に蘇らそうと製作されました。ただ、全く同じ物を作るのは大変難しいようです。表面に柿渋を重ね塗りしてあるため艶があるんです。

武四郎が使っていた煙草入れは、知人に火の用心と書いてサインしてもらっていた。現在の擬革紙は、財布や鞆などにして、軽くて丈夫だと人気が出ているそうです。でも、これを商売にして販売していくのは大変だということでした。



擬革紙の講座に参加して

会員 田中教子

3月16日に参宮ブランド擬革紙の会の代表である堀木茂様による講演会に参加することが出来ました。和紙が革のように変化することに興味を持っていましたところ、2021年と23年に松阪市文化財センターでの擬革紙の発表会と玉城町の工房の展示即売会にお邪魔して大変な作業で完成することを知りました。

そしてその会場で松浦武四郎愛用の「煙草入れ」の作品を拝見し武四郎との繋がりを感じ、武四郎ファンの皆様と共有できればと思いました。代表のお話を伺い擬革紙の会の皆様の再興への熱い想いに感動いたしました。次回も楽しみにしております。

擬革紙の会の皆様、武四郎友の会の皆様 ありがとうございます。

【記念館からのお知らせ】

☆武四郎講座(毎月第2日曜日の午前10時から11時ごろまで開催)

- 4月14日 「武四郎と尊王攘夷」 講師：山本 命
- 5月12日 「武四郎とその孫 孫太」 講師：世古 詩央里
- 6月 9日 「武四郎とめぐる史跡名勝」 講師：佐藤 圭祐
- 7月14日 「開館30年記念座談会① 記念館の開館まで」
- 8月11日 「開館30年記念座談会② 開館から現在まで」
- 9月 8日 「開館30年記念座談会③ 記念館のこれから」

☆企画展示のご案内

- 3月29日(金)～5月26日(日)「武四郎と尊王攘夷」
- 5月31日(金)～7月21日(日)「武四郎とめぐる史跡名勝」
- 7月21日(金)～9月29日(日)「晩年の武四郎」

【友の会よりのお知らせ】

「友の会総会(報告会)を開催」!

2024年5月12日(日曜日) 11時～

場所：松浦武四郎記念館多目的室(講座会場)



無料開館のお知らせ

●4月20日(土)
・21日(日)
三重県民の日

●7月17日(水)
北海道みんなの日

※ぜひお越しくださいませ。

「8月までの行事!」ご案内

擬革紙体験会 日時:2024年6月12日(水)現地10時から

場所：度会郡玉城町下田辺937 まちかど博物館「参宮ブランド擬革紙の会」

参加費 3,000円 ※人数制限があり、二回に分ける可能性もあるので調整します!

偉人たち展 2024年8月6日(火)～11日(日)

場所：松阪市文化財センター第1展示室

※北海道の武四郎歌碑の拓本を展示します。



会費納入のお願い

令和6年度の年会費を、総会の日に納付いただきますようお願いいたします。今後、口座振込みをご希望の方は、記念館事務局
0598-56-6847へお問い合わせください。



次回の発行は、8月の予定です。